

ジェイアールバス東北本部

第16号 2020年2月7日

〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡1-4-3 JR東労組仙台地方本部内
NTT:022-297-0155 JR:031-3981~3983
発責：佐藤 秀一 編集：情宣部

青森分会緊急集会開催

2020年1月26日（日）青森支店会議室において青森分会集会を開催しました。青森支店では仙台地区に多くの転勤者を出しております。そのため、**転勤のローテーションが早くなっている状態**であり、多くの組合員から改善を求める声が上がっています。そのような状況を踏まえ青森分会では、次の転勤者だけではなく、将来に関わる重大な問題と捉えて組合員の本音を聞くため緊急集会を開催し、組合員約10名が参加し議論を行いました。参加者からは、

「転勤のローテーションが短くなる一方である。」

「今でも2年転勤をして3年戻り、また転勤しなければならない状況であるが、このままでは2年ごとの転勤になりかねない」

「地元にいられる期間が短く、現状よりローテーションが早くなれば退職を考える社員も多くなるのでは…」

「いつまでたっても転勤問題は解決しないどころか以前より酷くなっている。嫌気がさしている人も多い」

「いつもプロパー社員だけが犠牲になる。そのため社員になるのを拒んでいる人が多くなっている。プロパー社員全員に関わる問題である」

「今の会社の状況を考えれば転勤するのは仕方ないと思っているが一度も転勤していない人がいるのは納得できない」

「どうしても転勤しなければならないのなら住宅手当を全額支給とするべき」

などの意見が出されました。このままでは、家族のことを考えて、退職という選択をする社員も多くなる可能性があります。参加者全員で問題解決のため議論を継続していくことを確認しました。また転勤問題は、青森分会だけではなく北東北の職場共通の課題でもあります。1月29日の代表者会議でも全分会連携し、たたかいをつくり出していくことで確認しました。また、転勤者が多くなっている要因として南東北の要員不足があります。仙台地区の要員を確保するためには受託事業所の手当の増額や待遇改善が不可欠であります。そのために一人ひとりの声を聞き、職場の活動を活発にして働きがいのある職場をつくりあげていきましょう。